

研究公開文書

2026年3月13日

研 究 名	救急科入院患者の入院関連機能障害と予後について
研 究 の 概 要	高齢入院患者のうち約3割が歩行や移乗動作等の日常生活動作能力が低下すると報告されています。また、この日常生活動作能力に身体機能や全身の骨格筋量が強く影響することが報告されております。本研究では入院時の大腿四頭筋の筋厚を評価することで、早期から身体機能や日常生活動作能力の低下を予測し、適切なリハビリテーションを展開することを目的としています。また、退院後の予後についても調査させていただきます。
研 究 対 象	包含基準：救急科の入院患者、65歳以上 除外基準：他科に転科した患者、5日以内に退院した患者、入院前の日常生活活動（ADL）が全介助の患者、リハビリテーションの処方がなかった患者
研 究 責 任 者	小田原市立病院 リハビリテーション室 葛西祐之介
研 究 実 施 期 間	研究許可日～2031年3月31日
連 絡 先	小田原市久野46番地 小田原市立病院 0465-34-3175